

I 県立病院事業

令和7年度上半期における県立病院事業は、県民の健康保持のため、その多様な要望に応える医療を提供するとともに、県内の医療水準の向上という目標に向け、県の基幹病院として、また、地域の中核病院として期待されている役割を果たすべく鋭意運営に努めてきました。

今回は、令和7年4月1日から令和7年9月30日までの令和7年度上半期における県立病院事業の概況、経理の状況及び令和6年度の決算の状況などについてお知らせします。

1 事業の概況

今期の県立病院の利用状況は第1表のとおりであり、前年度同期に比較すると、入院患者では6,439人の減、外来患者では5,441人の減となっています。

第1表 令和7年度上半期患者利用状況

(単位：人)

区 分	病 院 別				前年度 同 期	差引増減 (△)
	中央病院	丸亀病院	白鳥病院	計		
入院患者数	66,361	15,830	12,299	94,490	100,929	△6,439
外来患者数	108,784	15,642	30,781	155,207	160,648	△5,441
計	175,145	31,472	43,080	249,697	261,577	△11,880

2 経理の状況

令和7年度上半期における収入及び支出の状況は、第2表のとおりです。

第2表 令和7年度病院事業会計経理状況

収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比率 B/A
収 入	病 院 事 業 収 益	30,258,828	13,720,219	45.3
	医 業 収 益	25,266,866	11,551,388	45.7
	医 業 外 収 益	4,896,133	2,147,045	43.9
	特 別 利 益	95,829	21,786	22.7
支 出	病 院 事 業 費 用	32,419,066	12,638,124	39.0
	医 業 費 用	31,003,951	12,244,044	39.5
	医 業 外 費 用	1,071,372	117,473	11.0
	特 別 損 失	343,743	276,607	80.5

資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比率 B/A
収 入	資 本 的 収 入	2,775,437	468,622	16.9
	企 業 債	1,620,000	0	0
	出 資 金	544	0	0
	他会計からの長期借入金	81,848	0	0
	補 助 金	135,801	0	0
	負 担 金	937,244	468,622	50.0
支 出	資 本 的 支 出	3,731,716	1,230,096	33.0
	建 設 改 良 費	1,851,541	312,392	16.9
	企 業 債 償 還 金	1,844,709	917,704	49.7
	他会計からの長期借入金返還金	35,466	0	0

3 令和6年度決算の状況

令和6年度における患者数は、入院患者数延 199,894 人、外来患者数延 318,741 人、合計 518,635 人で、前年度と比較すると、72 人の減となっています。

収支状況については、総収益277億1,012万円に対して、総費用303億5,574万円で26億4,562万円の純損失が生じました。事業収益については、中央病院において、効率的な病床運用を行ったことにより入院患者が増加したことや、かかりつけ医との機能分化が一層進んだことによる入院診療単価の増加により、コロナ前の令和元年度決算を上回った令和5年度を超える医業収益となったものの、コロナ病床確保補助金がなくなったことにより医業外収益が減少したことなどから、全体として微増にとどまりました。事業費用については、人事委員会勧告などに伴う給与費の増加、物価高騰などに伴う材料費の増加、人件費上昇・物価高騰などに伴う委託料の増加などの要因により増加しました。

4 経営方針と主な取組

今後も、人件費や物価の上昇のほか、中央病院の移転新築等に伴う企業債の償還や、中長期的な視点に立った医療器械の更新等整備による資金需要の増加など、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されますが、引き続き、経営改善に取り組み、県民から求められる質の高い医療を安定的に提供できるよう努めてまいります。

令和6年度においては、次のようなことに取り組みました。

(1) 良質な医療サービスの提供

- ・中央病院において、患者サポートセンターを活用した地域医療連携の更なる充実など、医療サービスの向上に取り組んだ
- ・丸亀病院において、送迎サービスの開始により、デイケアの充実を図るなど、医療サービスの向上に取り組んだ
- ・白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用に努める等、地域の特性に応じた医療サービスの提供に取り組んだ

(2) 医療人材の確保・育成

- ・医師の確保・育成のため、関連大学との連携強化や研修・研究の充実に努めた
- ・看護師の確保・育成のため、感染対策のための行動制限がある看護学生も参加できるよう、県立病院説明会をWeb と対面の同時（ハイブリッド）開催とした
- ・勤務環境等の改善・充実のため、医師や看護師の補助者を適正に配置するなど、負担軽減に努めた

(3) 感染症・災害等への対応力の強化

- ・中央病院において、DMAT 隊員の育成・研修を行い、災害急性期の機動的対応能力の強化に努めた
- ・新型コロナウイルス感染症の患者について、各病院において引き続き入院、転院等の対応を行った

(4) 安定的な病院経営の確立

- ・中央病院において、引き続き診療材料の共同購入や後発医薬品の採用により、材料費の適正化及び節減に努めるとともに、病床運用・病床配分の見直しにより、病床稼働率の向上に伴う収益の増加を図った
- ・丸亀病院において、引き続きデイケア、訪問看護の実施により、患者数の確保に努めた
- ・白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用により、収益の確保に努めた
- ・病院事業管理者や各院長等からなる「経営会議」を四半期に1回開催し、経営状況を迅速に把握・分析し、機動的な対応に努めた
- ・外部の有識者からなる県立病院経営評価委員会を開催し、経営改善の取組みの進捗状況等への外部評価を実施した

第3表 令和6年度県立病院事業損益計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

1	医	業	収	益			
(1)	入	院	収	益	15,844,898		
(2)	外	来	収	益	7,021,896		
(3)	そ	の	他	医業収益	<u>516,561</u>	23,383,355	
2	医	業	費	用			
(1)	給	与	費		14,947,392		
(2)	材	料	費		8,111,466		
(3)	経		費		3,823,506		
(4)	減	価	却	費	1,768,502		
(5)	資	産	減	耗費	72,486		
(6)	研	究	研	修費	111,787		
(7)	長期前払消費税勘定償却				<u>99,299</u>	<u>28,934,438</u>	
	医	業	損	失			5,551,083
3	医	業	外	収益			
(1)	受	取	利	息・配当金	8,650		
(2)	他	会	計	補助金	91,740		
(3)	他	会	計	負担金	3,063,102		
(4)	長	期	前	受金戻入	963,666		
(5)	そ	の	他	医業外収益	<u>192,163</u>	4,319,321	
4	医	業	外	費用			
(1)	支	払	利	息及び企業債取扱諸費	228,026		
(2)	雑		損	失	<u>1,171,178</u>	<u>1,399,204</u>	<u>2,920,117</u>
	経	常	損	失			2,630,966
5	特	別	利	益			
(1)	過	年	度	損益修正益	1,846		
(2)	そ	の	他	特別利益	<u>5,592</u>	7,438	
6	特	別	損	失			
(1)	過	年	度	損益修正損	16,076		
(2)	そ	の	他	特別損失	<u>6,018</u>	<u>22,094</u>	<u>14,656</u>
	当	年	度	純損失			2,645,622
	前	年	度	繰越欠損金			<u>3,110,362</u>
	当	年	度	未処理欠損金			<u><u>5,755,984</u></u>

第4表 令和6年度県立病院事業貸借対照表
(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地

2,580,612

ロ 建 物

24,000,196

同 減 価 償 却 累 計 額

△13,151,425

10,848,771

ハ 器 械 及 び 備 品

13,752,946

同 減 価 償 却 累 計 額

△9,235,758

4,517,188

ニ リ ー ス 資 産

50,418

同 減 価 償 却 累 計 額

△47,897

2,521

ホ その他有形固定資産

644,270

同 減 価 償 却 累 計 額

△577,126

67,144

ヘ 建 設 仮 勘 定

2,900

有 形 固 定 資 産 合 計

18,019,136

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権

5,035

無 形 固 定 資 産 合 計

5,035

(3) 投 資 そ の 他 の 資 産

イ 長 期 前 払 消 費 税

1,173,169

投 資 そ の 他 の 資 産 合 計

1,173,169

固 定 資 産 合 計

19,197,340

2 流 動 資 産

(1) 現 金 及 び 預 金

6,560,390

(2) 未 収 金

3,263,322

(3) 貸 倒 引 当 金

△28,607

3,234,715

(4) 貯 蔵 品

228,781

(5) 前 払 費 用

2,331

(6) 前 払 金

120,511

(7) そ の 他 流 動 資 産

2,764

流 動 資 産 合 計

10,149,492

資 産 合 計

29,346,832

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

17,264,429

17,264,429

企業債合計

(2) 他 会 計 借 入 金

イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

90,421

90,421

他会計借入金合計

(3) 引 当 金

イ 退職給付引当金

3,596,372

3,596,372

引当金合計

固定負債合計

20,951,222

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

1,828,909

1,828,909

企業債合計

(2) 他 会 計 借 入 金

イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

30,650

30,650

他会計借入金合計

(3) 未 払 金

2,327,969

(4) 引 当 金

イ 賞与引当金

858,155

ロ 法定福利費引当金

165,781

1,023,936

引当金合計

(5) そ の 他 流 動 負 債

104,180

流動負債合計

5,315,644

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

同 収益化累計額

12,824,459

繰延収益合計

△10,469,368

負債合計

2,355,091

28,621,957

資 本 の 部

6	資	本	金			6,178,626							
7	剰	余	金										
(1)	資	本	剰	余	金								
	イ	受	贈	財	産	評	価	額	20,600				
	ロ	補		助		金			5,250				
	ハ	そ	の	他	資	本	剰	余	金				
									<u>276,383</u>				
	資	本	剰	余	金	合	計			302,233			
(2)	利	益	剰	余	金								
	イ	当	年	度	未	処	分	利	益	剰	余	金	
									<u>△5,755,984</u>				
	利	益	剰	余	金	合	計			<u>△5,755,984</u>			
	剰	余	金	合	計						<u>△5,453,751</u>		
	資	本	合	計							<u>724,875</u>		
	負	債	資	本	合	計					<u>29,346,832</u>		